

モールド副資材を拡大

大塚産業マテリアル

カーシート補強材製造り組む。国内外合わせて大手の大塚産業マテリアル 将来的にモールド副資材(滋賀県長浜市)は宅の売り上げだけで60億円。モールド副資材(不織布成)を旨指す。

形などによるカーシート その一環として、8月補強材)の事業拡大に取 新工場である浅井工場



建屋の全面に太陽光発電パネルを設置した環境配慮型工場でもある

(滋賀県長浜市)を本格稼働した。本社から営業部、業務部、資材部が移った。敷地面積は3万平方メートル、2階建ての建屋は延床面積1万平方メートルで、総投資額は17億円。建屋の屋根全面に太陽光発電パネルを設置し、工場の全電力を賄えるようにし

た。不織布の成形加工機や裁断機などを本社工場や他工場から移設したが、成形機についてはさらに増設を予定し、倍増となる月産60万枚の規模に拡大する計画を組む。カーシート補強材は米国やインドでの販売拡大も見込

た。不織布の成形加工機や裁断機などを本社工場や他工場から移設したが、成形機についてはさらに増設を予定し、倍増となる月産60万枚の規模に拡大する計画を組む。カーシート補強材は米国やインドでの販売拡大も見込

んでおり、1月には米国に販売子会社、オオツカ・アメリカを設立した。佳特種紡織品(浙江省平湖市)ベトナムは大塚産業マテリアルへベトナムでも不織布成形品による新用途開拓が進む。既にという海外の製造子会社も持つ。ベトナム子会社では米国の販売拡大をに広がっている」と大塚らみ、第3工場の増設も検討する。

誠蔵社長は事業拡大に手